

医療部 災害研修会報告

平成 30 年 2 月 10 日（土）に高知リハビリテーション学院にて、高知県理学療法士協会医療部主催の医療安全研修会（災害研修会）が開催されました。

大規模災害に対応できる人材育成を目的に、高知県理学療法士協会会員 25 名に参加いただきました。

くぼかわ病院の東先生による「理学療法士が知っておくべき災害支援」では、JRAT や KORAT など災害関連組織の取り組みや活動概要の紹介、スフィアプロジェクトの理念や内容の説明、トリアージ START 法の例題を用いた説明、災害関連資格・研修の紹介、高知県の災害医療計画、高知県理学療法士協会の役割についてご教授いただきました。

近森病院の横田先生による「糖尿病患者に対する大規模災害への備え」では、災害時に不足が予測されるインスリンや糖尿病薬の説明と、そこでの対応方法、災害時の血糖管理と低血糖時の対応、災害時の食事療法、災害時の避難所でも行える運動の紹介など、理学療法士として具体的な支援内容をご自身の経験を踏まえてご教授いただきました。

今回の研修では、本県にもいつか来ると言われている大規模災害についての研修ということもあり、参加された皆様は大変熱心に受講されていました。熊本大地震や東日本大震災の経験や教訓を学び、災害支援や準備を進めていく必要性を改めて感じることができました。この度はご参加、誠にありがとうございました。

医療部 江口 幸太

